

家族の集合場所・緊急時連絡先

●家族の集合場所

一時避難場所 <small>(町内で決められています)</small>	
指定避難場所 <small>(町内で決められています)</small>	
家族の集合場所 <small>(家族が離れ離れになったときの待ち合わせ場所)</small>	

●緊急時連絡先

連絡先	電話番号

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは災害発生時のみ利用可能になる「声の伝言板」です。音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行います。

●伝言の録音・再生方法

- ① 「171」をダイヤル
- ② 録音したいとき…「1」をダイヤル
再生したいとき…「2」をダイヤル
- ③ ご自宅の電話番号、または連絡のとりたい方の電話番号をダイヤル
XXXX-XXXX-XXXX

避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者とは、災害時に自分の生命・安全を守ることが難しく、何らかの支援を必要としている人たちを指します。地域で協力しあいながら支援しましょう。

☆避難行動要支援者を安全に誘導するポイント☆

高齢者 傷病者	複数人に対応。緊急時にはおぶって避難する
目の不自由な人	障害物を説明し、腕や肩をかしながら半歩くらい前をゆっくり進む
耳の不自由な人	口を大きく動かして身振り手振りではっきりと話す

笠松町 防災必携

☆日ごろから携帯しましょう

名前	
----	--

非常持出品・備蓄品の準備

◆非常持出品 ……災害発生時、最初 に持ち出すもの

<input type="checkbox"/>	準備できたらチェックしましょう
	非常持出袋
	飲料水
	非常食(乾パン・缶詰など)
	携帯ラジオ(予備電池含む)
	懐中電灯(予備電池含む)
	ろうそく・ライター
	ティッシュペーパー・トイレットペーパー

◆非常備蓄品 ……復旧するまでの数日間 を支えるもの

	ヘルメット・帽子
	タオル
	ビニール袋
	上着
	下着
	軍手
	救急用品セット
	常備薬
	貴重品(通帳・印鑑など)
	現金(10円硬貨含む)
	健康保険証のコピー
	ナイフ・缶切り・栓抜き

<input type="checkbox"/>	準備できたらチェックしましょう
	食品 (缶詰・レトルト食品など3日分以上)
	水(1日当たりの1人3リットル)
	カセットコンロ・燃料
	毛布・タオル・寝袋
	ウェットティッシュ
	携帯電話の充電器
	電池
	洗面用具(歯ブラシ・石鹸など)

☆これはすべて一例です。他に必要なのは
個々で準備しておきましょう。

	鍋・やかん
	簡易食器 (割り箸・紙皿・紙コップなど)
	ラップ・アルミホイル
	マスク・使い捨てカイロ
	簡易トイレ
	メガネ・コンタクトレンズ
	工具類

防災行政無線のお問い合わせ

アンサーバック機能のお知らせ

⇒放送が聞き取れなかった場合は、下記番号で放送内容が確認できます。

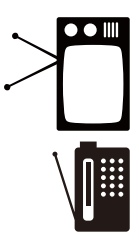
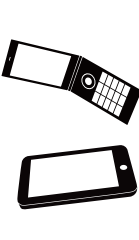

☎388-4930 または ☎388-4931

緊急地震速報

①緊急地震速報とは？

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前（揺れる前）にお知らせするための情報です。発信されたら、すぐに身を守る行動をとりますよう。

②どこから発信されるの？

テレビ・ラジオ	
携帯電話・スマホ	
防災行政無線	

③どういう時に鳴るの？

地震により予測される震度が5弱を超えたときに報知音が鳴ります。

あんしんかさまつメールに登録を

あんしんかさまつメールに登録すると、次の6つの情報を受け取ることができまます。ぜひご活用ください。

- ①笠松町に発令された気象警報
- ②笠松町に震度4以上の地震が発生した時の情報
- ③防災情報
- ④防犯情報
- ⑤避難所情報
- ⑥避難情報

以下のQRコードを読み取りサイトにアクセスし、空メールを送信して登録手続きを行ってください。QRコードが読み取れない場合は、メールアドレスに空メールを送信してください。



メールアドレス
kasamatsu@sg-m.jp

避難情報入手して早めに行動

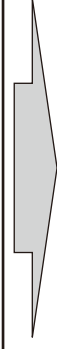
避難情報は、町の「防災行政無線放送」や「あんしんかさまつメール」などを通じて伝えまます。安全な避難のため役に立てください。

☆3段階の避難情報☆

①避難準備情報	発令されたら…避難の準備を始めましょう。
②避難勧告	高齢者や障がいのある人など、避難に時間を要する要支援者が避難行動を開始しなければならぬ段階です。



③避難指示	発令されたら…ただちに避難してください
	避難を強制するものではありませんが、避難のための行動をすすめる段階です。



③避難指示	発令されたら…ただちに避難してください
	被害が発生する危険性が高い場合に出されます。避難勧告より拘束力が強いものです。

安全に避難するための心得

☆安全避難のポイント☆

- ①グラッと来たら、まず「身の安全」
- ②避難する前に、火元を確かめよう！
- ③家族や同僚、隣人の安否確認！
- ④必需品は持ち出せる場所に！
- ⑤荷物は必要最小限にする！
- ⑥お年寄りや子どもには声をかけ、困っている人がいたら一緒に避難！
- ⑦危険な場所を避けて避難する！
- ⑧町内会で指定された避難場所へ避難する！

避難の方法

小中学校などの避難所への避難が一般的ですが、災害の種類や状況に応じた避難が大切です。

<地震>

- ・町内会指定の避難所
- ・公園など、広い場所
- ・建物内の安全な場所（待機）（耐震性の高い建物に限る）

<水害>

- ・外が危険な場合は無理をせず、自宅の2階や近くの高い建物へ